

総額10兆円 背負わせる 奨学金返済 苦

国の貧困な政策「生活設計に大影響」

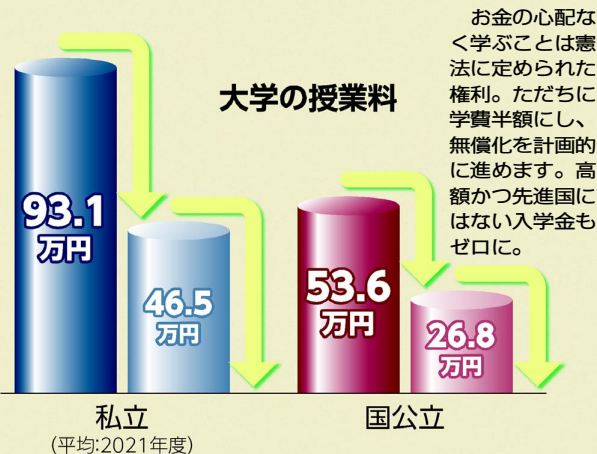
50倍の授業料値上げ

いまの学費は、学生や保護者の負担能力を超えていま 授業料と入学金、施設整備

「学費を払うためにバイト漬け。授業もままならない」（学生）、「子どもの学費で貯金が底をついた」（保護者）、「十数万円の給料から月2万円の奨学金返済は地獄」（青年労働者）—重い教育費負担の軽減は、まったなしの課題です。

特集 すいよう

① いますぐ学費半額 入学金ゼロ（必要額年1.5兆円）



② 75万人の 給付奨学金をつくる（年0.5兆円）



③ 奨学金返済を半額カット（1回限り5兆円）

貸与奨学金の総貸付残高



財源

①+②=2兆円

法人税制の改革、富裕層への増税、歳出改革の一部を充てる

③=5兆円

国債発行や特別会計(剰余金)の軍事費流用中止で

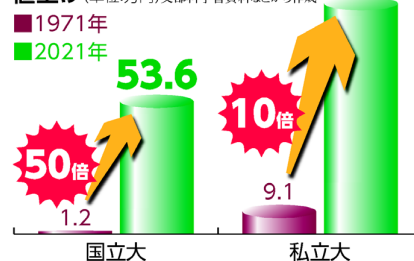
高等教育無償化へ日本共産党二つの緊急提案



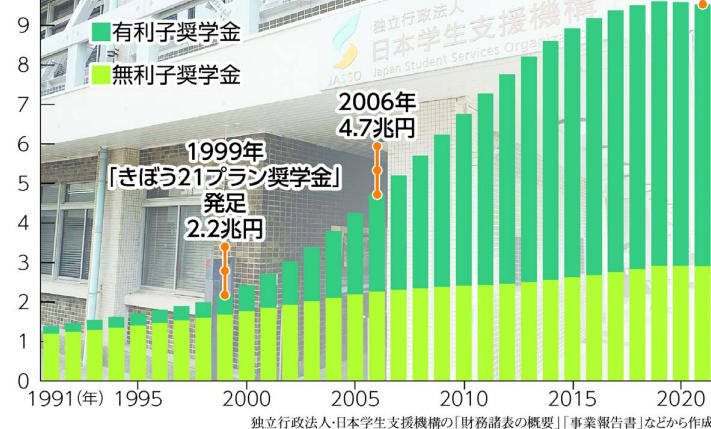
先進国最低クラスの教育支出（GDP比%：2019年）



この50年間の大学授業料の値上げ（単位：万円）文部科学省資料などから作成



奨学金の貸与総額の推移



奨学金返済による生活設計への影響（2022年度）

	貯蓄	大いに影響34.4	やや影響31.3	その他
仕事や就職先の選択	18.9	27.2		
子育て	17.3	14.5		
出産	16.3	14.8		
結婚	17.3	20.2		

労働者福祉中央協議会「奨学金や教育費負担に関するアンケート調査」から作成

肖像権の保護のため写真にマスク処理をしています

産（GDP）比）であること、奨学金は他先進国にはない日本独自の制度で、入学しなくても返金5800円、私立大学平均では約135万7000円（同93万943円）です。大規模な奨学金制度となつてきたのか。歴代の自民党政権のもとで国立大への運営費交付金や私学助成などが減らされてきたからです。高等教育への公的財政支出（国内総生産に占める割合）は、戦後から低下しつづけています。戦後、高等教育は、50年前と比べて国立大で50倍、私立大で10倍という異常な値上がりです。同時期の消費者物価指数は3倍程度なので、その異常さがよくわかります。この異常さが、生活設計に大きな影響を及ぼしています。奨学金返済は、生活設計の重要な要素の一つです。奨学金返済は、生活設計の重要な要素の一つです。奨学金返済は、生活設計の重要な要素の一つです。

有利子奨学金の拡大

150万人で、うち貸与奨学金の利用者は116万人。全学生の3人に1人が平均300万円の借金を背負って社会に出ています。奨学金返済中の人への調査（労働者福祉中央協議会、22年度）では、「返済が生活設計に「影響している」は結婚」が4割弱、「出産」「子育て」はいずれも3割強、「貯蓄」では6割強に及んでいます。2022年の自殺者のうち、理由の一つとして奨学金の返済を挙げたと考えられる人が10人いた（「朝日」6月18日付）などの報道も。高額な奨学金返済は若者の生活設計の重荷となり、将来不安を増大させています。

立ち上がる

民青と共産党

高等教育の無償化をいま全国各地で日本民主青年同盟や日本共産党などが学費・奨学金返済の実態を聞くアンケートや宣伝、署名活動、行政への要請など多彩に取り組んでいます。日本共産党は、国会論議で高等教育の無償化を政府に迫っています。6月5日には「『だれに学費・奨学金返済を半額にし、計画的に無償化をすすめていく』三つの緊急提案を発表。その柱は9月28日に発表した「日本共産党の経済再生プラン」や、来年1月に開く20回党大会の決議案にも盛り込まれています。